

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 5 (2023) 年 8 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

AI と診療情報管理士の今後

林田 賢史

DPC コース小委員会 委員長
産業医科大学病院 医療情報部 部長

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2023 年 5 月 8 日に「5 類感染症」に変更されたこともあり、対面での講義や会議が増えてきました。コロナ前は、会議等の前後に情報交換を含めた他愛もない会話をする機会がありましたが、コロナ禍のこの数年間はオンラインでの開催が主だったため、雑談をすることもほとんどない状況でした。オンライン会議は、報告や簡単な質疑応答であれば十分機能しますが、深い議論やブレインストーミングにはあまり適していないと感じています（少なくとも私は適応できていません）。場の空気感や相手の表情が見えづらいためかもしれません。

ところで、私は今年 4 月、東京国際フォーラムで開催された日本医学会総会に参加しました。日本医学会総会は 4 年に一度、様々な分野の医学・医療の研究者や従事者らが集まって、重要な課題について総合的に議論する場です。今回のテーマは「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生 100 年時代を求めて～」でした。昨今の AI ブームもあり、多くのセッションで ChatGPT が話題になっていました。ChatGPT は近年非常に注目を集めており、ChatGPT が話題に上らない日はほとんどないと言っても過言ではありません。

AI の発展は、診療情報管理士業務に大きな変化を与えます。オートコーディングの性能が向上すると、コーディング業務に多くの時間を費やす必要がなくなるため、データ分析等の医療の質向上に資する業務にシフトしていくことが予想されます（実際、すでにシフトしていることと思います）。しかし、有益なデータ分析は、正確なデータがあってこそです。記録やコーディングが正しく行われている必要があります。また、医療環境の変化や制度・政策の理解も不可欠です。医療制度等の深い理解と診療情報管理士業務の基本であるコーディングや監査業務の重要性について、しっかり心に留めておいていただければと思います（ちなみに、この話題と少し関係しますが、診療情報管理士通信教育付加コースである DPC コースの受講申込がちょうど始まりましたので、ぜひ受講をご検討ください）。

ところで、診療情報管理士は今後どうなっていくのでしょうか？ ChatGPT に「診療情報管理士の今後」について尋ねたところ、「・・・（興味があれば皆さんも尋ねてみてください）。」といった回答でした。しかし皆さんおわかりのように、診療情報管理士の未来は ChatGPT が決めるのではなく、私達みんなで作っていくものです。皆さんの今後のさらなるご活躍を期待しています。

※DPC コースのお申し込みは、8 ページ及び [Web サイト](#) をご覧ください。